



## 屋久島ぽんかん導入100周年記念式典開催



10月14日、屋久島にぽんかんの原木が台湾から持ち込まれ栽培が始まってから今年で100年を迎えたことを記念し、100周年記念式典が開催されました。

平内地区にある記念碑前にて神事を行い、その後尾之間地区の中央公民館で式典が行われました。式典には関係機関をはじめ、生産者約120名が集まり盛大に催されました。ぽんかんは1924年、当時の下屋久村の黒葛原兼成村長が屋久島の特産品にしようと、台湾から原木を持ち込み栽培が始まりました。200本の原木は100年が経った今でも7本が残り、毎年実をつけています。

ぽんかんはほどよい酸味と甘みが特徴で、12月から収穫が始まり鹿児島市場を中心に年末の贈答品として出荷販売されています。

## 人気野菜！ブロッコリーの播種作業

10月中旬、2024年産ブロッコリーの今期6度目の播種作業が育苗ハウスで始まりました。JA管内では、他の品目に比べて管理作業の負担が比較的少ないブロッコリーの面積が拡大しています。

専用の自動播種機でセルトレイに播種し、ハウス内で約2週間育苗管理を行い、農家へ供給されます。

川下日道指導員は「ブロッコリーの安定した生産のために健苗作りに努め、生産者の所得向上につなげたい」と話しました。

